事業名	期日	場所
土地改良区通水祈願祭	５月１日	今金八幡神社境内

活動内容

今年の潅漑用水路の通水先立ち、安全祈願祭が鈴木理事長を始め理事・総代・管理員・両町農業委員会会長・JA 組合長等が参加され行われました。
大谷宮司の祝詞で言われましたが、全ての源である水の安定確保は最も重要なことであります。紀元前 6 年頃のメソポタミア・エジプト・イランなどで、潅漑が行われていた形跡が発見されています。乾燥地帯における大麦栽培で自然降水量だけでは生産出来ないことから人工的に水の供給が行われていたものと思います。
日本では、大和時代にため池を含めて配水路等の用水施設あったと言われています。
戦後は、多目的ダムの建設により、全農地の 3 分2が、公共事業等人工的施設により恩恵が受けられているのが実情であります。
　今金町・せたな町の受益者で構成している狩場利別土地改良区受益面積は、全体で４．７４８ha（内　水田　今金分　２．０６３ha・せたな分 2.055ha、畑神丘畑かんとしての 630ha）と、今金町では 2.693ha となります。





